

コロナ対策 ～市独自の支援策～

●上水道料金 免除・補助事業

コロナ禍における原油価格、物価高騰が市民の生活及び経済活動に影響を与えることを踏まえ、上水道の基本料金を令和4年8月分から令和5年1月分（6カ月間）を免除します。

1億8461万7千円

Q 地区ごとの免除額は、また、口径別の補助金は。

口径	13mm	20mm
八開地区	10,890円	
佐織地区	7,920円	
佐屋、立田地区	5,808円	15,840円
稲沢市水道	4,620円	17,820円
津島市水道	5,181円	14,190円
あま市水道	7,260円	
蟹江町水道	7,590円	

※金額は6カ月間の場合

▲水道契約ごとの免除額

A 八開地区は1万890円、佐織地区は7920円。海部南部水道企業団エリアの佐屋、立田地区は口径13ミリ5808円、口径20ミリ1万5840円など。

●保育所等給食 費緊急補助事業

物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを安心して育てることができるよう

う、給食費（副食代）を令和4年7月から12月まで（6カ月間）支援します。

Q 対象人数と食数は。

A 対象人数は全て3歳以上の園児が対象となる。公立3園分で118人、民間保育園、認定こども園分の660人、永和保育園分の60人、幼稚園分290人の見込みになる。食数は6カ月分の見込みとなる。

Q なぜ主食代を対象に
しなかったか。

A 副食代は、すでに市独自の事業として3500円の補助を実施しており、保護者への負担軽減を速やかに行えるため、副食代の上乗せ補助とした。年内中の物価高騰に緊急的に対応するため半年間にした。

令和2年度実施した主な支援策

- 上下水道料金免除補助事業
- 小中学校給食費等無償化事業
- プレミアム付商品券補助事業
- 商工業者のための冬支度応援事業
- 防災備蓄品整備事業
- 学校臨時休業対策費補助金事業
- 小中学校 GIGA スクール事業
- 修学旅行のキャンセル料等支援事業
- 民間児童クラブ応援事業
- 高齢者インフルエンザ予防接種補助事業
- リモート環境導入事業
- キャッシュレス決済導入事業

令和3年度実施した主な支援策

- 避難所用備蓄品等整備事業
- 救急活動・救急車感染防止対策事業
- 市内小中学校の手洗い水栓を一部自動水栓化
- キャッシュレス決済導入事業
- 申請書作成等システム導入事業
- スポーツ施設予約導入事業
- 商工業者事業継続支援事業
- プレミアム付商品券補助事業
- 小中学校給食費無償化事業
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
- 新生児子育て応援給付金事業